



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話(53)3033番
(53)3034番
編集兼 前川 哲也
発行人
半年間1,200円 送料共

公判お知らせ
大災害裁判公判 十月二十四
日午前十時から、福岡地裁で。
坑内火災裁判公判 十月二
十三日午前十一時から同地裁
で。

なお、本紙の編集兼発行人が
まだ前任者になっておりますが、
すでに熊本郵政局に對し変更認可
申請を出してありますので、認可あ
りしだい新任者名に変わります。
(前号一部間違いました)以上
の通りです。よろしく。
編集部

**平等配分の原則を
出来高給制など検討を
いよいよ賃金展開交渉へ**
組合は、十六日、さきの審問で獲得した賃上げ分の展開につい
て「平等配分の原則を基本とする」態度をもって、一律給金額基
本給に繰り入れることなどを要求した。

手記

今は補償なく
夫は被災以来、入院—退院のく

九月二十八日。今年もまた、思
いだしたくない日がきます。
私の夫は、三川坑内火災(昭和
四十二年九月二十八日発生)に
被災して以来、やがて満十三年を
迎えます。

会社の災害責任追及へ

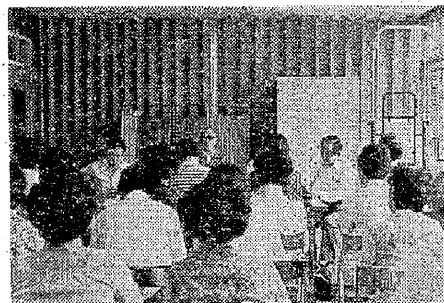
近づく9月28日

この十三年間というものは、一度
だって心の底から笑える日はあり
ません。定年を迎えたら、
ささやかながら家を一新建てて
園芸や釣りでもたのしんで、
老後の設計をたてていました。そ
れを三井資本は、かんじんの夫を
CO患者にして苦しめ、家族を苦
しめ、一家の団らんを奪い、何も
かもめっちゃめちゃに破壊してしま
ったのです。九月二十八日を迎え
るたびに、私は三井の奴に對し、
腹の底から新たな怒りがこみあげ
てきます。

家族ぐるみのこの苦しみは 私達だけで十分

一坑内火災CO患者家族の手記

夫は、ですからたといふ体の具合
が悪くても、休んだら生活が苦し
くなるからといって、よく無理を
押しつけて居ました。
恐れていたように、夫は病状が
悪化し、また入院の身となりまし
た。ところが、こんどの入院は私
傷けいす。



夫は、先八月十四日定年を迎
え、三池炭鉱を退職しました。た
とえ定年の日がきたといつても
CO中毒症に定年はなく、夫の体
のなかからぬけ出るわけもありま
せん。

全体的に、CO患者の健康は悪
化しております。一方的に、夫同
様に治療を打ち切られた患者仲間
が、今年五名ガンや肝臓障害など
で死にされています。坑内火災で
犠牲となられた、上村孝知さんら
五名のひとことも無念をあらわ
すために、あくまでも三井に災害

CO患者やその家族は、
こうして労働省の機関に
真実を訴えるが……
九・二八坑内火災の資本責任を
追及する裁判は、今吉田曜病院々
長に對する反対審問が続いていま
す。がんばりましょう。

組合は、十六日、さきの審問で獲得した賃上げ分の展開につい
て「平等配分の原則を基本とする」態度をもって、一律給金額基
本給に繰り入れることなどを要求した。

資本の責任追及へ

近づく坑内火災抗議集会

苦しみは続く
私は組合の指導のもとで、労災

組合でかねて準備をすすめてい
る九・二八坑内火災抗議集会の日
が、いよいよ近づいてきた。

抗議集会はきたる二十九日午後
五時半から、あの炭じん大爆発に
ひき続き、同坑内火災をひき起こ
した三川坑の正門前で開催する。

周知のように右の坑内火災は、
すでに裁判で明らかにされたよう
に、自然発火が原因となり、昭和
四十二年九月二十八日午前五時五
十分ごろ、三川坑の坑内で起き
た。七人の坑内労働者が命を奪わ
れ、四百人もCO患者が出た。

三井資本の災害責任の追及、保
安の確立を期す闘いをさらに強め
ることが、求められている。

組合は、展開をめぐる組合態度
について、すでに七月十四日の中
央委員会でも意志統一、要求の時
機を待っていた。

納得できぬ運転労働者の起訴

会社にくこそ責任あり

炭車逸走
事故問題 見逃せぬ保安怠慢

この炭車事故(五面に記
事)による災害は、昭和五十二
年六月、有明鉱の三池炭鉱への統
合と同時に、宮浦炭を廃止して三
川鉱に吸収合併する案を押しつ
けた。合併により不可欠となった人員
補充は、組合が要求したにもか
わらず完全に無視され、なり行き
たことに端を発している。会社

は、それまで石炭産五百二十万
トン体制だったのを、合併以降五
会社の態度だったから、当然保安
に關するものなど間接作業は手抜
きとなり、労働密度はさらに強ま
った。

以上具体的な例に見られるよ
うに、生産(利潤の追求)のため
には、労働者の生命と健康など常
に、完全に無視されていることを

組合でかねて準備をすすめてい
る九・二八坑内火災抗議集会の日
が、いよいよ近づいてきた。

抗議集会はきたる二十九日午後
五時半から、あの炭じん大爆発に
ひき続き、同坑内火災をひき起こ
した三川坑の正門前で開催する。

周知のように右の坑内火災は、
すでに裁判で明らかにされたよう
に、自然発火が原因となり、昭和
四十二年九月二十八日午前五時五
十分ごろ、三川坑の坑内で起き
た。七人の坑内労働者が命を奪わ
れ、四百人もCO患者が出た。

三井資本の災害責任の追及、保
安の確立を期す闘いをさらに強め
ることが、求められている。

組合でかねて準備をすすめてい
る九・二八坑内火災抗議集会の日
が、いよいよ近づいてきた。

抗議集会はきたる二十九日午後
五時半から、あの炭じん大爆発に
ひき続き、同坑内火災をひき起こ
した三川坑の正門前で開催する。

周知のように右の坑内火災は、
すでに裁判で明らかにされたよう
に、自然発火が原因となり、昭和
四十二年九月二十八日午前五時五
十分ごろ、三川坑の坑内で起き
た。七人の坑内労働者が命を奪わ
れ、四百人もCO患者が出た。

三井資本の災害責任の追及、保
安の確立を期す闘いをさらに強め
ることが、求められている。

組合は、展開をめぐる組合態度
について、すでに七月十四日の中
央委員会でも意志統一、要求の時
機を待っていた。

三井分会が全 員総会を開く

六日の夕から翌七日にかけ、玉
名温泉の石川荘で、三池炭組の三
井分会(組合員九人。早瀬朝徳分
会会長)は全員総会を開き、組合員
同志の親睦を通じて団結を固め、
これからの闘いを進めていくこ
とを意志統一した。

分會員の松尾勝己さんが近く定
年を迎えるので、松尾さんの送別
の会を開くことになり、断じて労働者
の意味もこめて開いたのだった

三井分会といえ、例のうたで
え運動の、全国の中心指導者だ
った荒木栄さん(すでに故人)が
育った職場だけに、一般と違い、
各組合員はそれぞれうたや踊りな
どを準備していったという。

三井分会といえ、例のうたで
え運動の、全国の中心指導者だ
った荒木栄さん(すでに故人)が
育った職場だけに、一般と違い、
各組合員はそれぞれうたや踊りな
どを準備していったという。

三池闘争20年 実行委が発足

三池闘争二十年記念行事の企画
のための、実行委員会が発足。選
れはせながら、いそがしい仕事の
合間に集まり、検討にいっている。